



NO.120



令和5年12月発行  
中濃県事務所 振興防災課 振興防災係  
家庭教育担当：塚原  
〒501-3756 美濃市生櫛 1612-2  
TEL：0575-33-4011 (内線210)  
FAX：0575-35-1492



# 命の授業

## ～命の大切さを学ぶ～



### 家庭教育学級の取組紹介 ～郡上市立口明方小学校～

#### 【開催の目的】



赤ちゃんの頃は、子どもを抱っこしたり、「大好きだよ。」と言ったりしていましたが、成長するにつれて忙しい毎日の中で心の余裕もなくなり、子どもと言ひ合いになって、イライラしてしまうこともありました。

今回の家庭教育学級は、子どもと一緒に「命」について考え、命の大切さを感じられる時間をもつことができればより良い関係を持てるのではないかと思います、1年生の親子向けに「命の授業」を企画開催しました。

#### 【授業の概要】



<開催日> 令和5年10月12日(木)

<講師> パン工房「まあさ」店長  
元大垣市立小学校長 堀部 マサ 氏

<授業名> 「命の授業」 ～命の大切さを学ぶ～

<授業内容>

- 1 ウォーミングアップ ～「だるまさん」の絵本を使って～（親子でスキンシップ）
- 2 あなたが生まれたとき（講話） ～「命の始まり 奇跡の確率で出会った私たち」～
- 3 絵本の読み聞かせ 「ラブユーフォーエバー」  
「Some day 小さなあなたへ」



## 【授業の様子】



はじめに、親子一緒に柔軟運動をしてお母さんのお腹の下にもぐったり、「だるまさんが転んだ〜！」で、親子でごろんと寝転んだり、スキンシップいっぱいのウォーミングアップが行われました。



「ひとりひとりの命は、奇跡の重なりで誕生しました。」「どの子ども、選ばれて生まれてきたのだね。」命の大切さを再確認して、親子でぎゅーっとハグ。みんな、照れながらもとても嬉しそうでした。「今、生きているこの時間を最大限に活用して、子どもたちに愛の言葉を伝えたり、ハグしたり、生まれてきてくれたことに感謝しながら過ごしていきます。」～授業最後の主催者の言葉～

## 【参加者の感想】



- 命の大切さを、子どもにも分かるように教えていただきました。子どもが成長しても、「大好き」「愛している」という気持ちを伝えていきたいと思いました。小学生になり心身共に成長を感じますが、今日はスキンシップがいっぱいできて、あらためて子どもは可愛いなあと思いました。
- 帰宅してからも、授業を振り返って子どもと二人で話すことができました。これからもこの授業を思い出して、「あなたは選ばれて生まれてきた大切な命」ということを伝えていきたいと思います。6年生の長男も、4年生の次男も、ぎゅっと抱きしめたい気持ちになりました。

## 【主催者の感想】



ハグしている時の子どもやお母さんの表情を見て、今ここに存在してくれていることへの感謝を感じてみえることがよく分かりました。皆さん、本当にいい表情でした。ありのままの自分で生きていいこと、それを受け入れることの大切さをあらためて実感しました。

## 【取材を終えて】

講師の堀部先生は、ご自分の実体験を交えながら、時に涙を流しながら、心を込めて話をされました。笑いあり、涙ありの中身の濃い授業でした。授業終了後は、親子仲良く手をつなぎ、寄り添って帰られる姿が印象的でした。



# アンガーマネジメント研修



～よりよいケアを目指して！～



## 企業内家庭教育研修の取組紹介 ～デイサービスにじむすび～

### 【開催の目的】



「デイサービスにじむすび」は、重度の障害がありながら自宅で生活してみえる方や、加齢により身体や様々な機能が低下された方が通所してみえる施設です。

介護の世界は、様々な人間関係から成り立っています。職員の中には、仕事においてストレスを抱えるケースもあるため、職員が気持ちのコントロールを学べるように研修会を企画開催しました。

### 【研修会の概要】



- <開催日> 令和5年11月15日(水)  
<講師> 「あゆみだした女性と子どもの会」  
理事長 廣瀬 直美 氏  
<研修名> 「アンガーマネジメント研修」  
～よりよいケアを目指して～



#### <研修内容>

- アンガーマネジメントとは  
「怒らないためのもではなく、怒ることによって後悔しないための研修です。」
- この一週間で腹が立ったこと、イラッとしたことを思い出してみよう
- 怒ることのメリット、デメリット（怒らないことのメリット、デメリット）  
怒りは大切な感情表現。怒ることがいけないのではない。怒る必要のあるものとないものの区別をしっかりとすることが大切
- 衝動のコントロールを学ぼう  
思いをすり合わせて折り合いをつけていく。6秒間を乗り越えるテクニック（魔法の呪文）
- 行動のコントロールを学ぼう 6秒→思考→行動

### 【参加者の感想】



- ・自分はどんな思い込みがあるか、考えることができました。怒りがわいたら、自分なりの「魔法の呪文」で6秒間を乗り越えて落ち着けることが分かりました。
- ・職場だけではなく、家庭の子育てでも役立つ「上手な叱り方」を教えていただきました。自分の感情に責任をもって子どもに気持ちを伝えていきたいと思いました。

### 【取材を終えて】



今回の企業内研修は、6名の施設職員の方が熱心に受講されていました。

今回の研修を通じて、施設を利用される方々との信頼関係がより一層深まるとともに、施設職員の各々のご家庭内でも、是非いかしていただけることを願っています。